

祓川

祓川は^{つくしづ川}櫛田川から分かれた河川です。全長は約14kmになり、そのうち10kmが明和町内を流れています。

祓川流域は自然の護岸が残され湿地となっており、平成13年(2001)に環境省が選定した「重要湿地500選」に選ばれました。祓川には在来のタナゴ類のほか在来の魚類や貝類が生息しており、種の多様性が高い水域となっています。河口付近になると葦原が広がっており、モクズガニやカワウなどが生息する環境になっています。しかし現在では外来種の増加によって希少な在来種が減少しつつあります。

現在は^{つくしづ川環境美化推進委員会}祓川環境美化推進委員会により清掃活動や、小学生との水生生物調査が実施されています。祓川に残された自然を守り、残していく活動が進められています。

祓川は日本遺産「^{折る皇女斎王のみやこ 斎宮}折る皇女斎王のみやこ 斎宮」に含まれる構成文化財となっており、自然の豊かさだけでなく、歴史的にも重要な川になります。



河口付近の葦原



中流域

